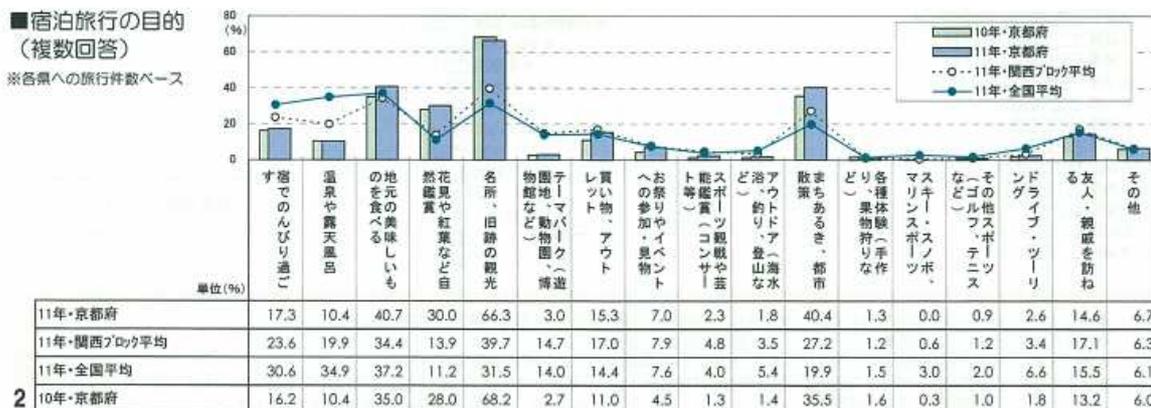


1. 全国の観光地の中の京都、京都の中の宇治の位置づけ

1. 全国の旅行者が京都へ旅行する目的

宿泊旅行者（国内在住の20～79歳の男女）が、旅行時に目的にしている項目は、京都府では「名所、旧跡の観光」が最も多く、66.3%となっており、全国平均の31.5%を大きく上回っている。



資料：(じゃらん宿泊旅行調査 2011(株)リクルートじゃらんリサーチセンター 【以下「じゃらん旅行調査」とする】)

2. 京都府への旅行者のリピーター率

京都府を訪れる来訪者の8割以上が、リピーターとなっており、全国平均の73.4%を大きく上回る、リピーター旅行者の多い観光地であることが伺える。



資料：じゃらん旅行調査

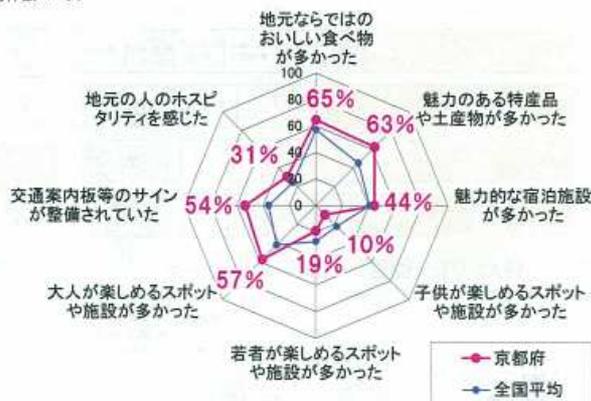
3. 京都府へ来た旅行者の総合的満足度

京都府への旅行者で、満足度が全国平均より高くなっている項目は、「食」「特産品」「大人が楽しめるスポット」「ホスピタリティ」となっている。

■総合的な満足度と項目別評価（単一回答） ※各県への旅行件数ベース

総合的な満足度	11年		10年	
	91% (2位)	83%	89% (2位)	(全国平均)
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	65% (17位)	67%	67% (12位)	
魅力のある特産品や土産物が多かった	63% (2位)	66%	66% (2位)	
魅力的な宿泊施設が多かった	44% (12位)	44%	44% (13位)	
子供が楽しめるスポットや施設が多かった	10% (42位)	11%	11% (40位)	
若者が楽しめるスポットや施設が多かった	19% (22位)	23%	23% (17位)	
大人が楽しめるスポットや施設が多かった	57% (2位)	64%	64% (1位)	
交通案内板等のサインが整備されていた	54% (1位)	57%	57% (1位)	
地元の人のホスピタリティを感じた	31% (8位)	32%	32% (6位)	

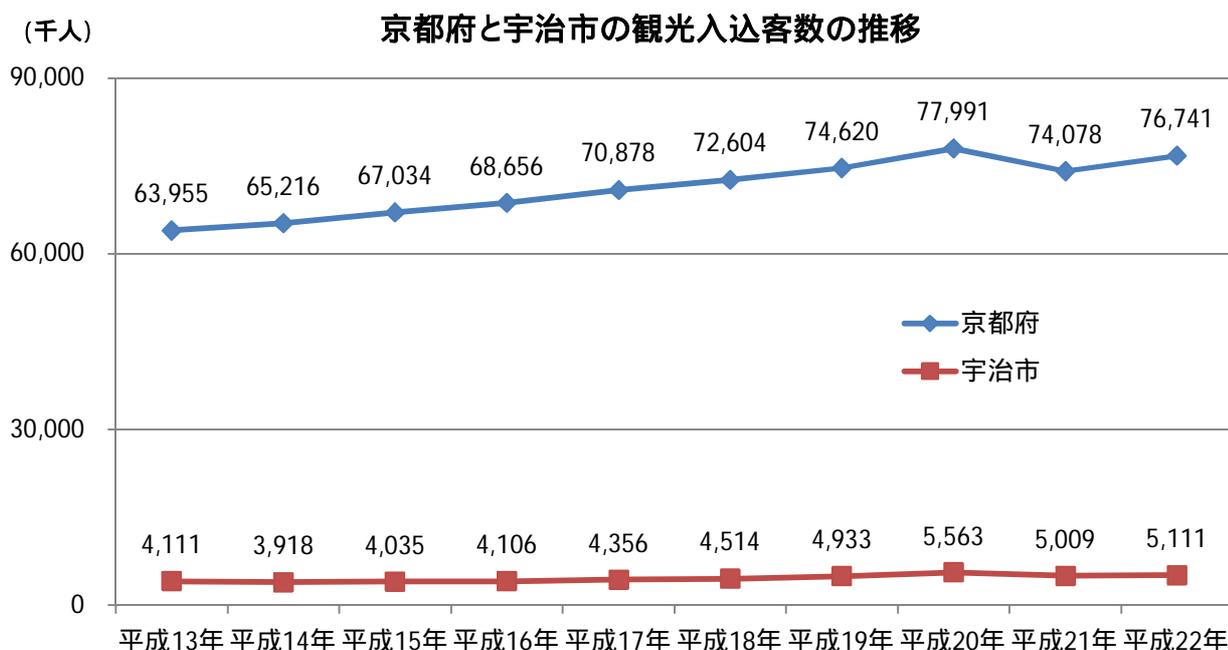
※総合的な満足度…「とても満足」「やや満足」と答えた人の割合
 ※項目別評価…「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合



資料：じゃらん旅行調査

4. 京都府全域と宇治市の観光入込客の推移

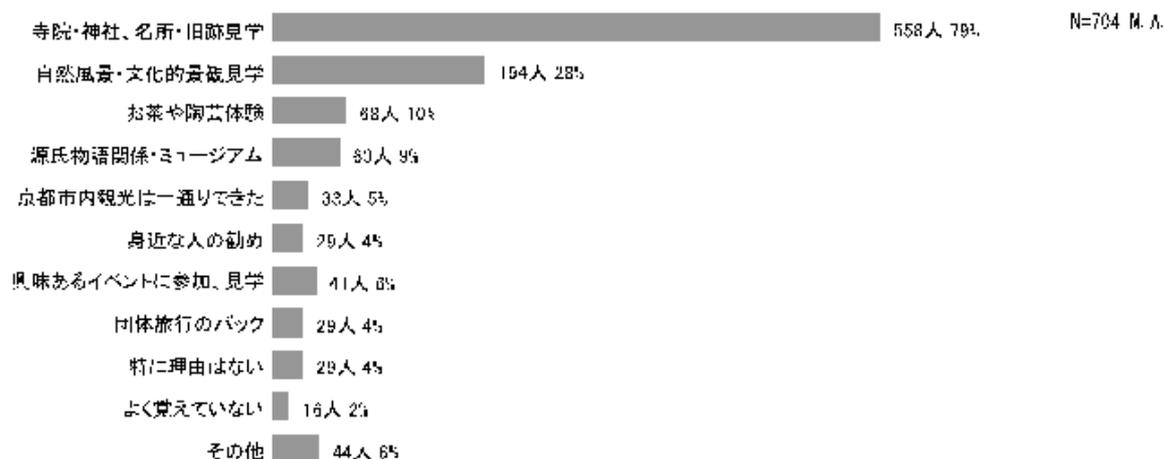
京都府全域と宇治市の観光入込客数の推移をみると、京都府・宇治市ともに、平成 21 年を除いて増加傾向にあり、平成 13 年と平成 22 年の増加率は 120% 程度と同程度となっている。



資料：京都府観光入込客数調査

5. 宇治観光の目的

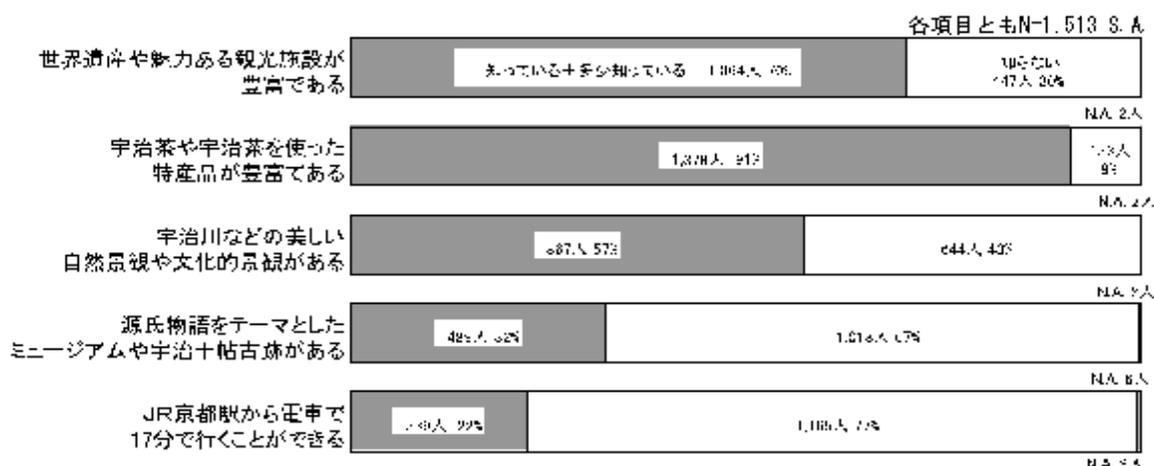
京都市内観光者で、宇治に訪問経験がある方に、来訪目的を尋ねたところ、最も多い回答が「寺院・神社、名所・旧跡見学」となっており、京都府へ来る観光客の目的と同様、目的の多くを占めている。



資料：平成23年度宇治市観光動向調査（京都観光における宇治のイメージ調査）

6. 宇治に関する認知

宇治に関する認知では、世界遺産や宇治茶に関しては、十分観光地として認知されていることが伺えるが、自然や文化的景観、源氏物語などは十分認知していないことが伺える。



資料：平成23年度宇治市観光動向調査（京都観光における宇治のイメージ調査）

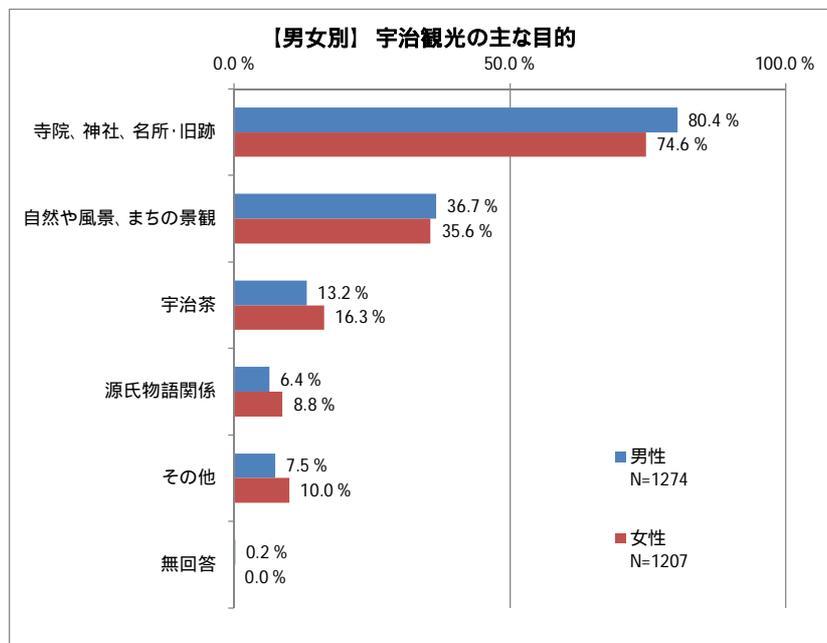
2. 女性目線での宇治市観光の動向（平成 23 年度観光動向調査より）

第 1 回策定委員会の中で、観光は女性が主導することが多いのでは、という議論がありましたので、「宇治市観光動向調査」の男女別のクロス集計を実施しました。

宇治市内での調査

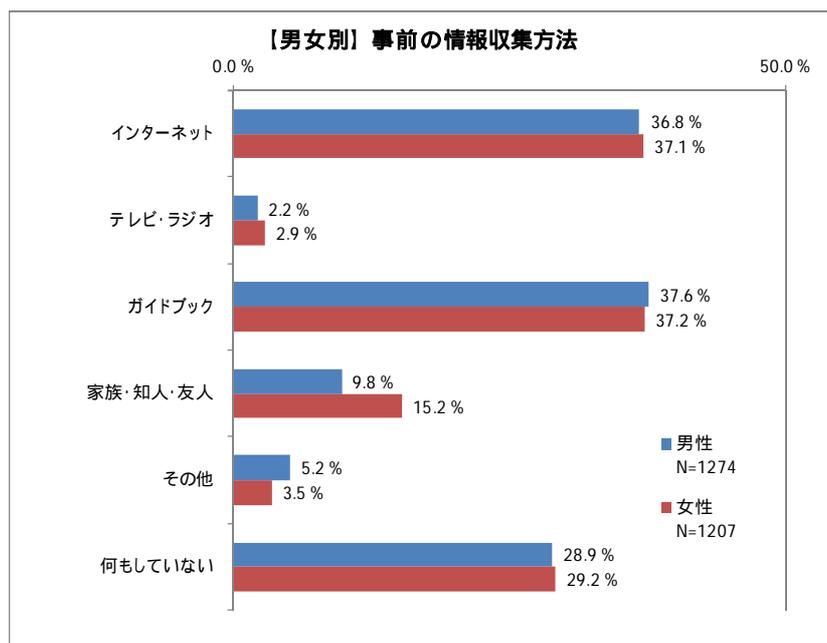
宇治観光の主な目的

宇治観光の目的では、上位の「寺院、神社、名所・旧跡」や「自然や風景、まちの景観」は男女ともに多くなっているが、「宇治茶」を目的としている女性が男性より比較的多くなっている。



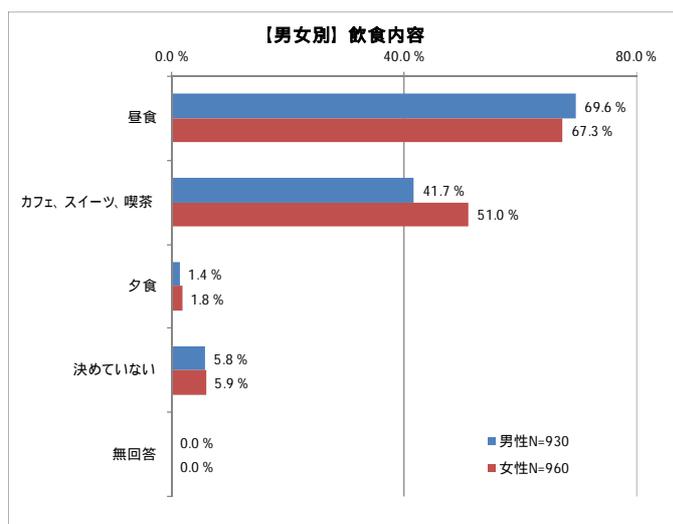
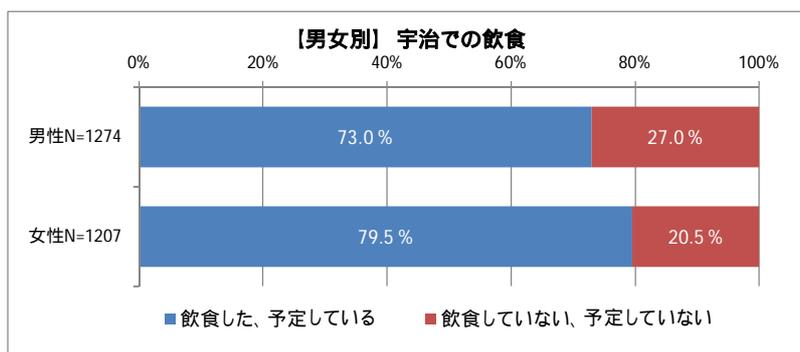
事前の情報収集

事前の情報収集では、女性は「家族・知人・友人」で男性と比較して多くなっており、いわゆる口コミの情報を重視している傾向が伺えます。

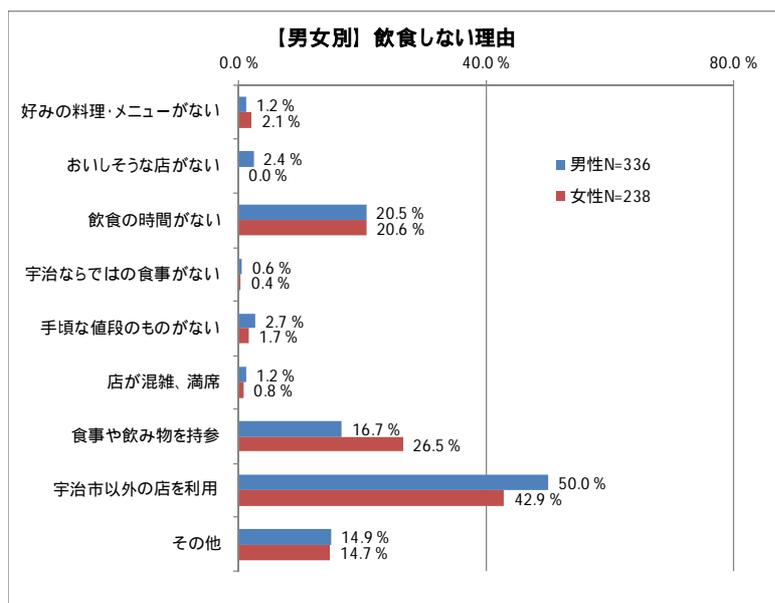


宇治での飲食

宇治での飲食については、「飲食した、予定している」と回答した割合は女性の方が多く、飲食内容では、「カフェ、スイーツ、喫茶」が女性で過半数を超えている。

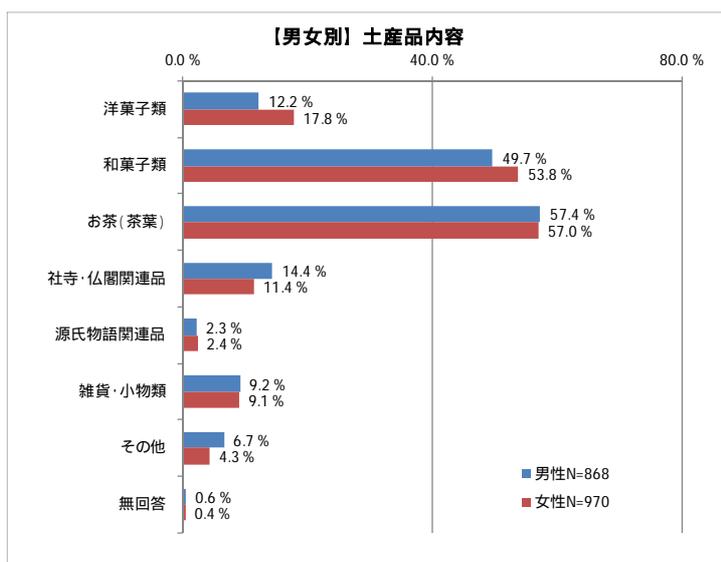
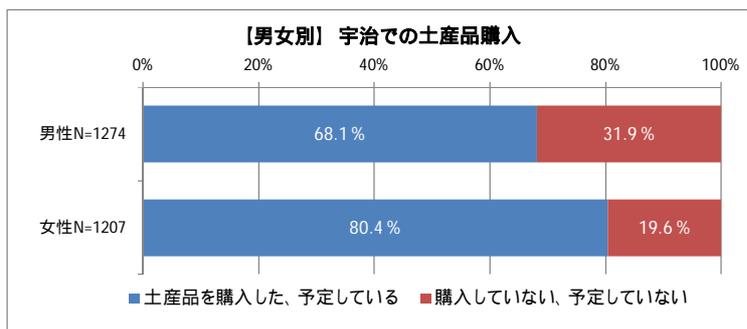


一方、「飲食をしていない、予定していない」理由では、女性は「食事や飲み物を持参」している割合が多くなっている。

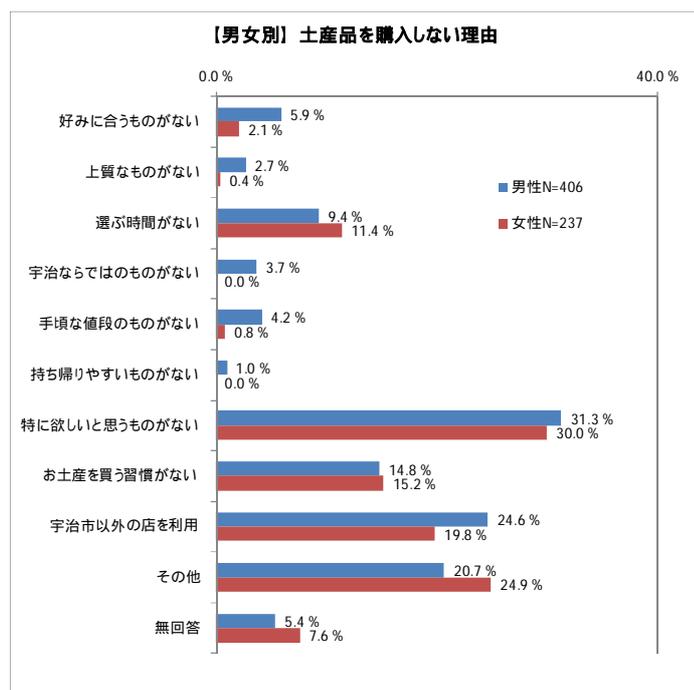


宇治での土産品購入

宇治での土産品購入については、「土産物を購入した、予定している」と回答した割合は女性の方が多く、土産品内容では、「和菓子類」「洋菓子類」といった菓子類が女性で多くなっている。

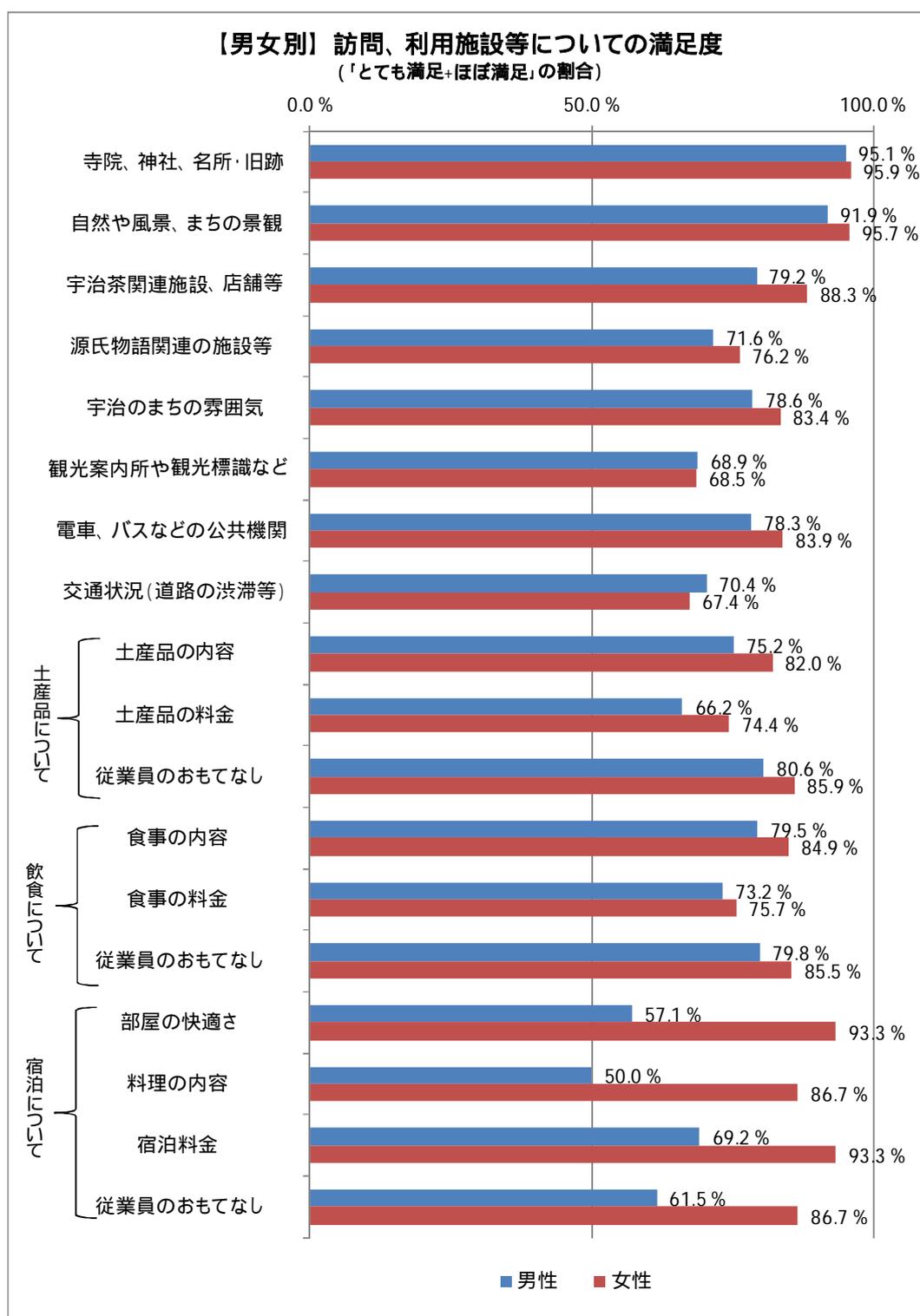


一方、「購入していない、予定していない」理由では、女性は「選ぶ時間がない」割合が多くなっている。



訪問、利用施設等についての満足度

訪問、利用施設等についての満足度（「とても満足+ほぼ満足」の割合）については、総じて女性の方が満足度が高くなっており、「宿泊関係」や「土産品関係」、「宇治茶関連施設、店舗等」で特に女性の満足度の割合が高くなっている。

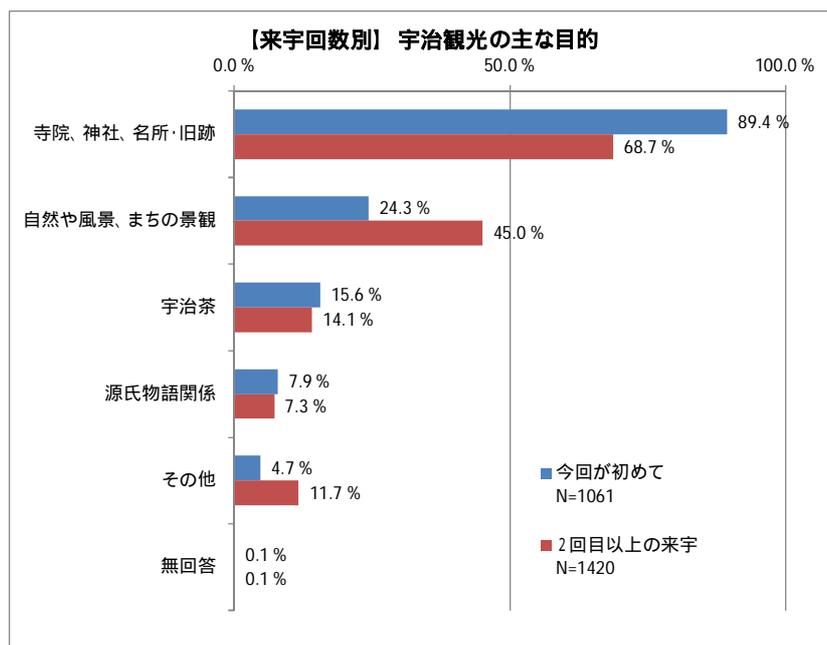


3. リピーター目線での宇治市観光の動向（平成 23 年度観光動向調査より）

宇治に再度の訪問をしているリピーターの方は、どのような目的で再訪しているかを探るため、観光動向調査において、初めての来訪者と2回目以上の来訪者に分けたクロス集計を実施し、分析しました。

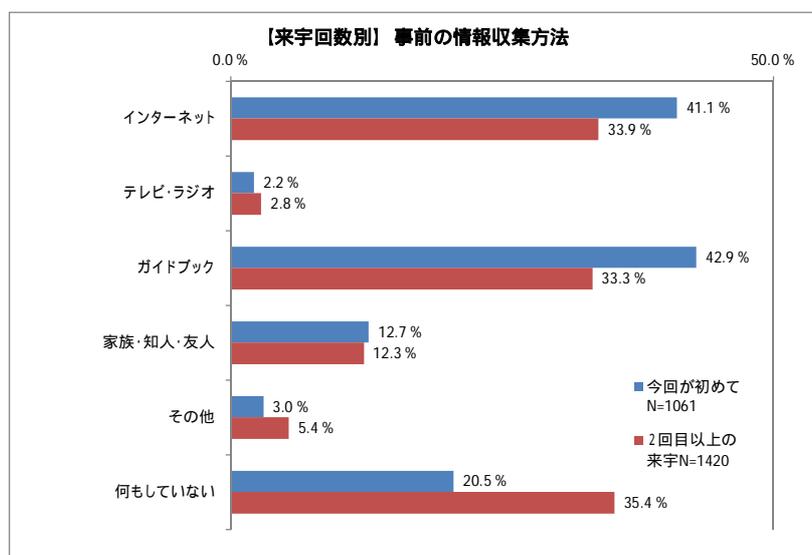
宇治観光の主な目的

宇治観光の目的では、初めて宇治を来訪された方の9割近くが「寺院、神社、名所・旧跡」となっているのに対し、リピーターは7割を下回り、逆に「自然や風景、まちの景観」が5割近くと多くなっています。



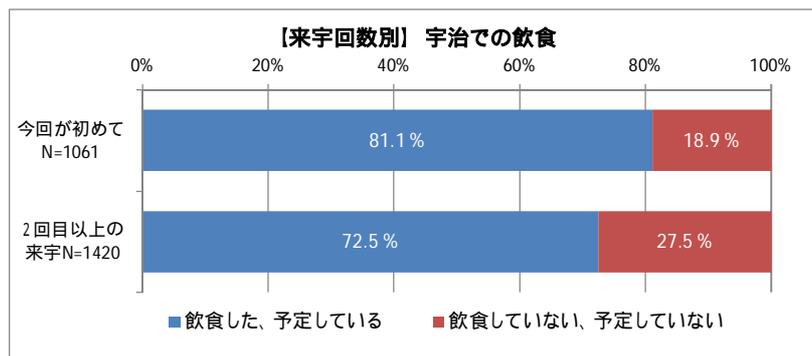
事前の情報収集

事前の情報収集では、リピーターは、インターネットやガイドブックを抑えて、「何もしていない」が最も多くなっています。

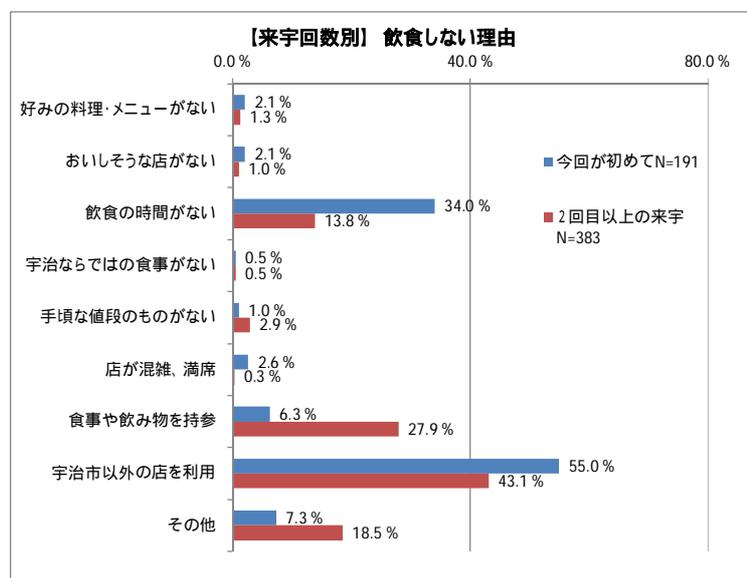


宇治での飲食

宇治での飲食については、リピーターのほうが、「飲食していない、予定していない」割合が多くなっています。

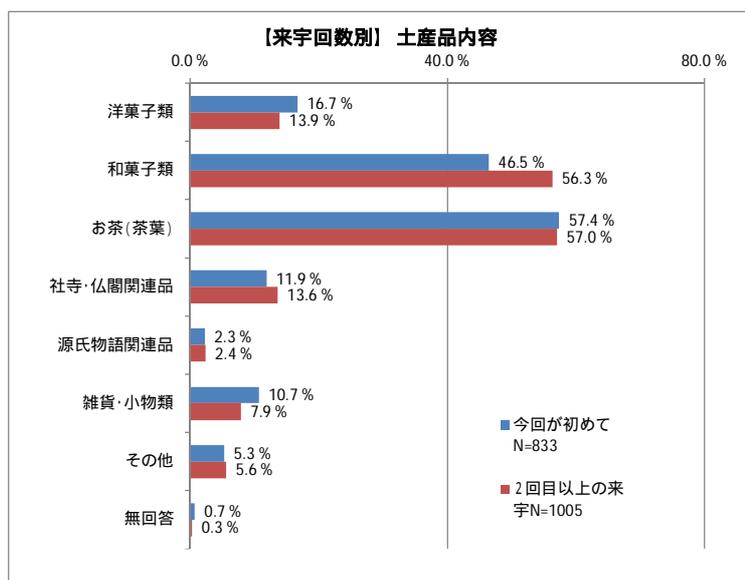
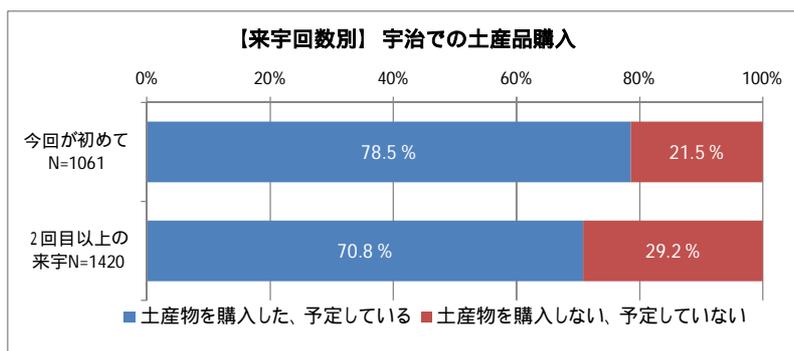


「飲食をしていない、予定していない」理由では、リピーターは「食事や飲み物を持参」しているからという理由が、今回が初めてと比較して大きく上回っています。

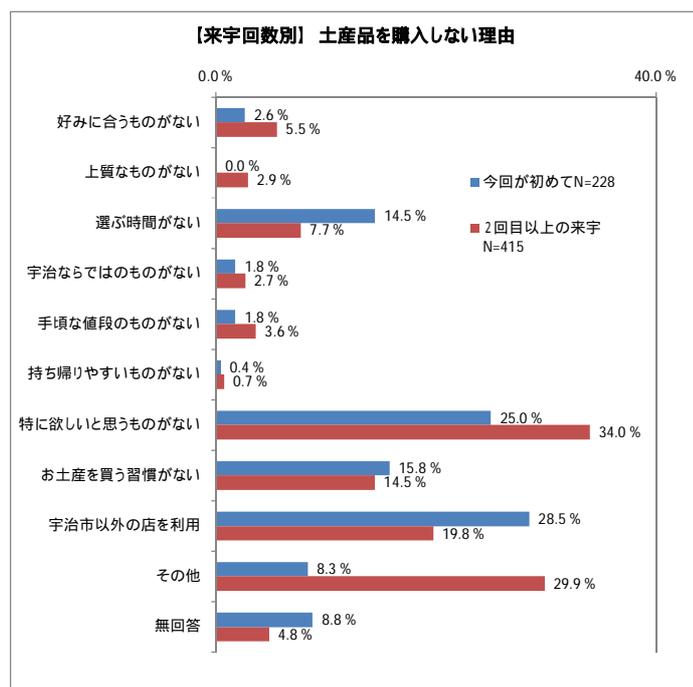


宇治での土産品購入

宇治での土産品購入については、飲食と同様、リピーターのほうが、「土産物を購入しない、予定していない」と回答した割合が多くなっています。また、土産品内容では、「和菓子類」でリピーターの方の割合が多くなっています。

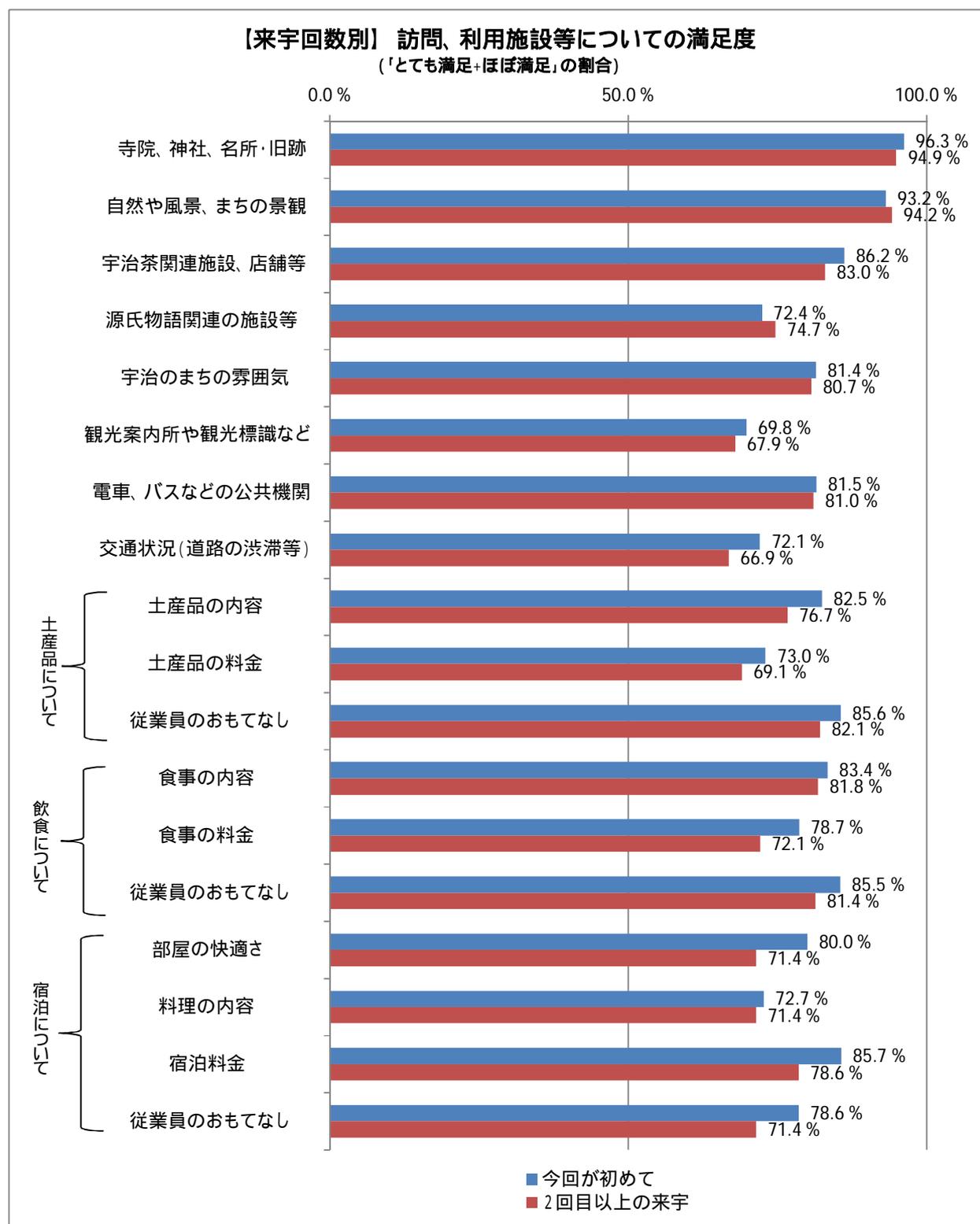


一方、「購入していない、予定していない」理由では、リピーターで、「特に欲しいと思うものがない」が多くなっています。



訪問、利用施設等についての満足度

訪問、利用施設等についての満足度（「とても満足+ほぼ満足」の割合）については、来宇回数別にみると、2回目以上の来宇で満足度が上がっている項目は「自然や風景、まちの景観」と「源氏物語関連の施設等」のみとなっており、他の項目は満足度が下がっています。

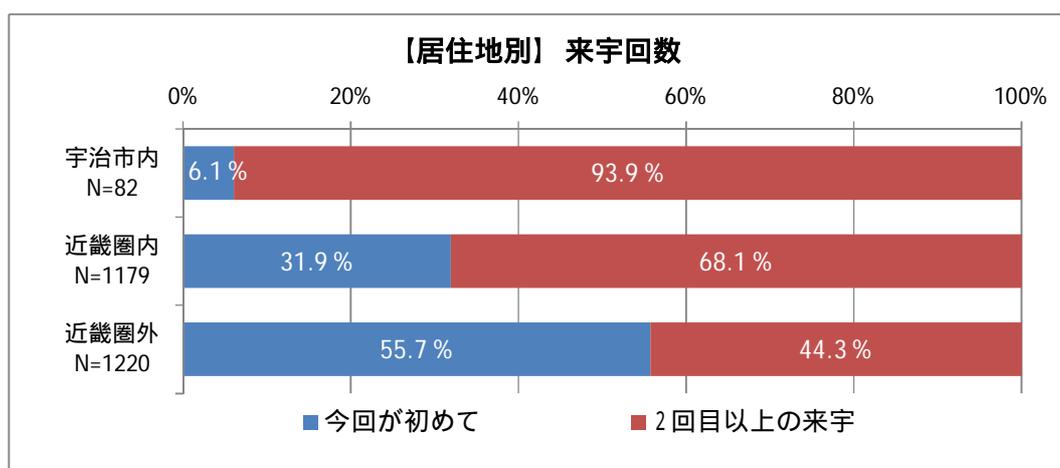


4. 来宇者の居住地別にみた宇治市観光の動向（平成 23 年度観光動向調査より）

来訪者の居住地別にどういった、特徴があるかを探るため、観光動向調査において、「宇治市内(市民)」と「近畿圏内」「近畿圏外」の来訪者に分けたクロス集計を実施し、分析しました。

来宇回数

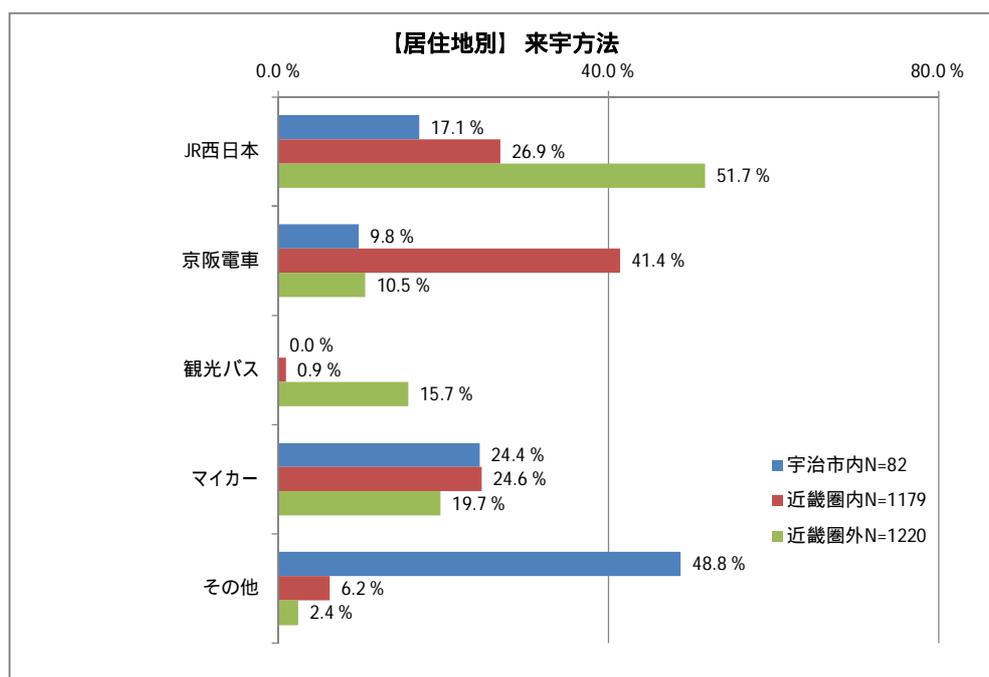
2 回目以上の来宇は、「宇治市内」はもちろん高くなっているが、「近畿圏内」が 7 割近くとなっており、現在のリピーターは近畿圏内の近隣の方が多くなっています。



来宇方法

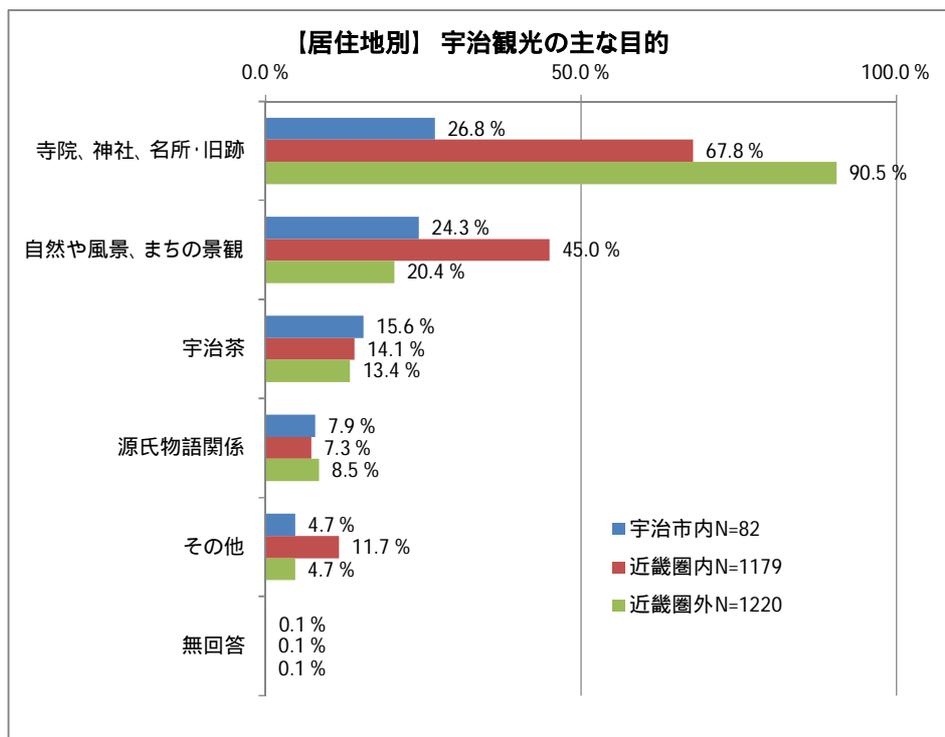
来宇するための交通機関では、「近畿圏外」の方は JR や観光バスが、「近畿圏内」の方は京阪電車を利用する割合が高くなっています。

マイカーに限っては居住地別に大きな差はみられない。



宇治観光の主な目的

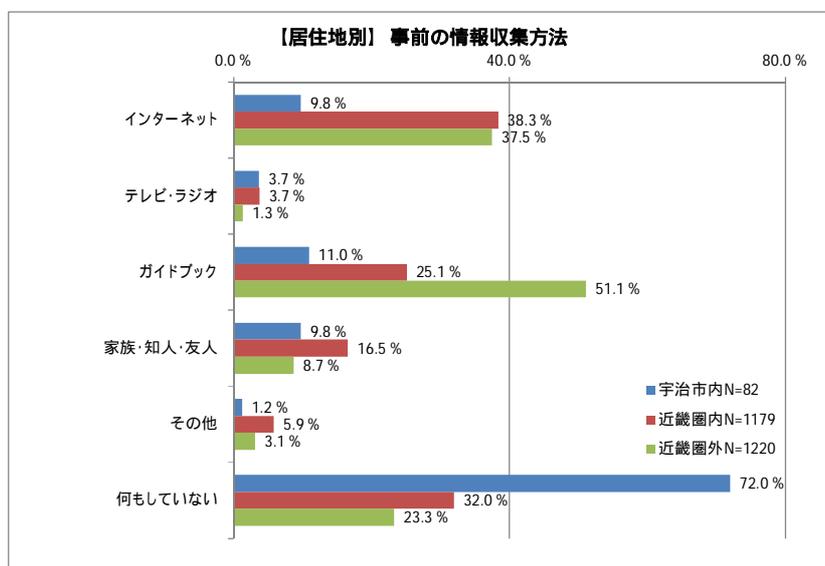
宇治観光の主な目的では、各居住地すべてで、「寺院、神社、名所・旧跡」が最も高くなっていますが、近畿圏内や宇治市内の方は、「自然や風景、まちの景観」も高くなっています。



事前の情報収集

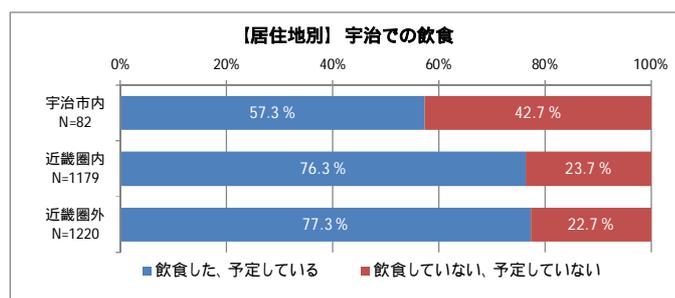
事前の情報収集では、近畿圏外の方の半数以上が「ガイドブック」で情報収集しており、近畿圏内と比べても非常に多くなっています。

近畿圏内からの旅行者は、インターネットと何もしていないが多くなっています。

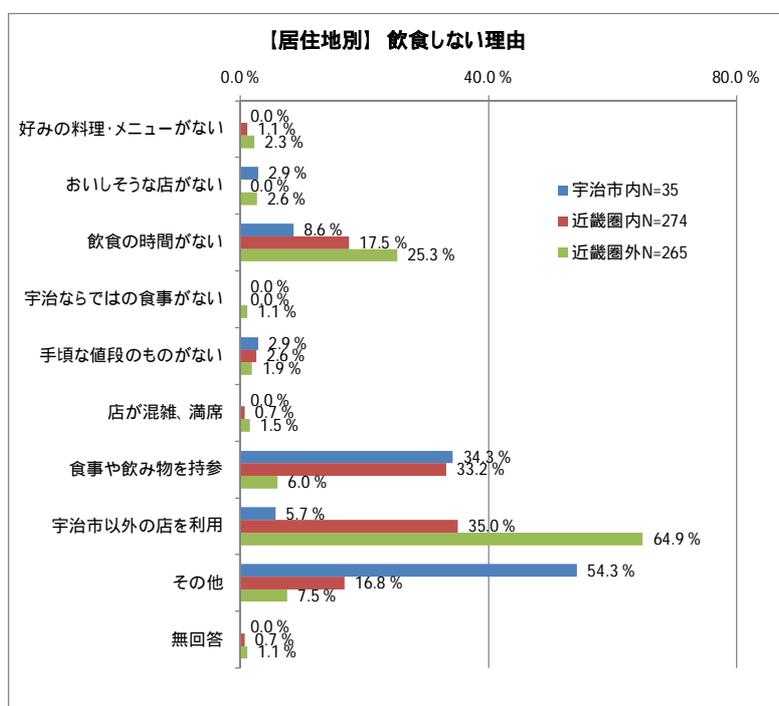


宇治での飲食

宇治での飲食については、近畿圏内・圏外に大きな差はなく、77%前後となっています。

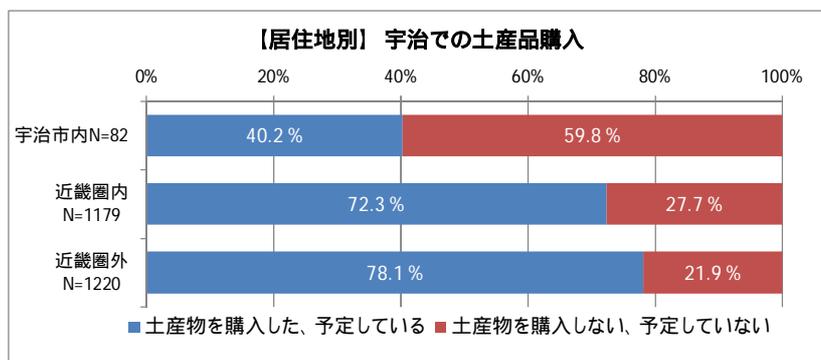


「飲食をしていない、予定していない」理由では、「近畿圏外」の方は、宇治市以外の店を利用する割合が64.9%と高くなっています。一方、「宇治市内」や「近畿圏内」の方は、食事や飲み物を持参している割合が高くなっています。

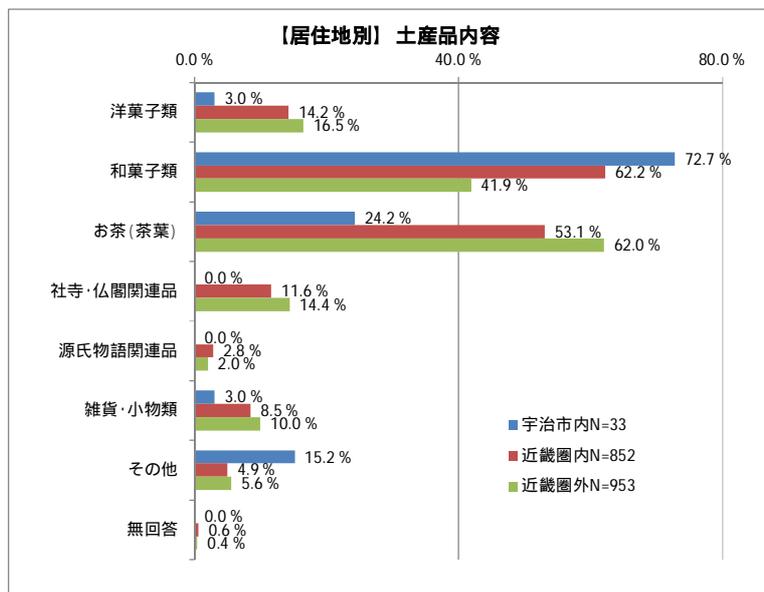


宇治での土産品購入

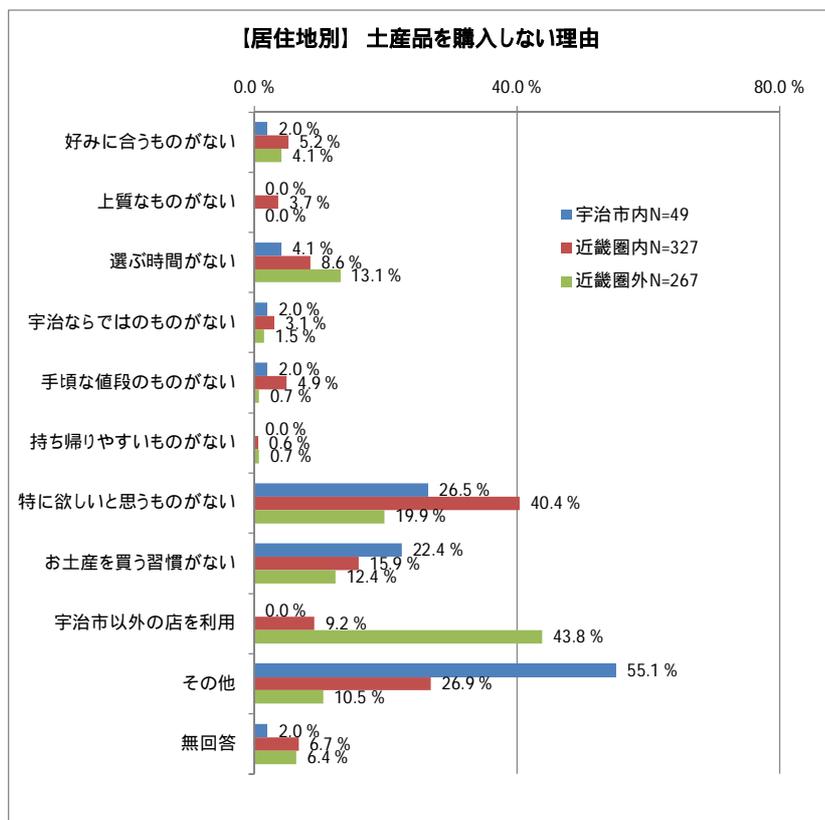
宇治での土産品購入については、飲食と同様、近畿圏内・圏外に大きな差はなく、75%前後となっています。



土産品の内容では、商品毎に差がみられ、「洋菓子類」や「お茶」等では近畿圏内・圏外の方の購入率が高く、「和菓子類」では、近畿圏内・宇治市内の方の購入率が高くなっています。



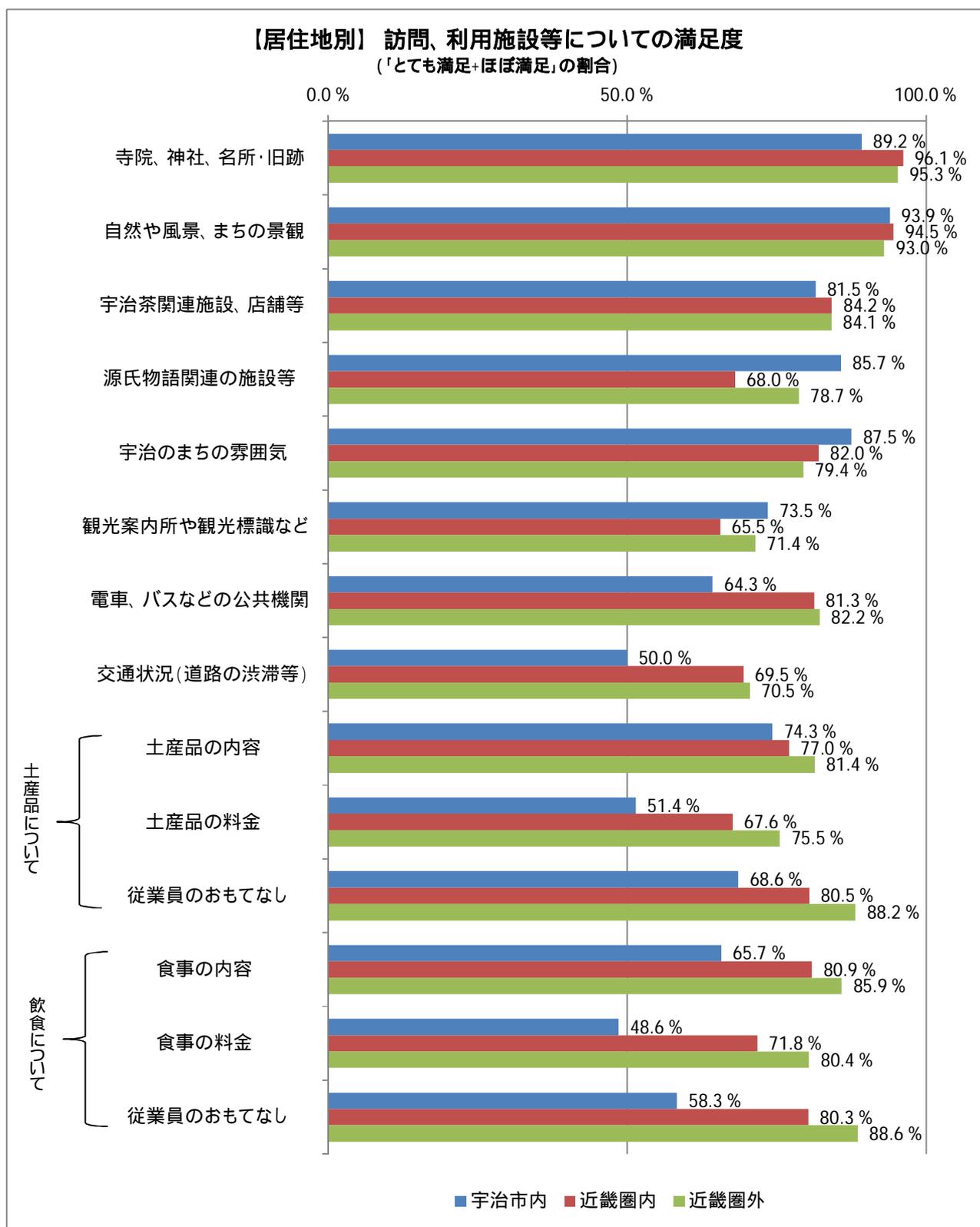
一方、「購入していない、予定していない」理由では、「近畿圏内」の方は、特に欲しいと思うものがないが最も高く、「近畿圏外」の方は宇治市以外の店を利用が最も高くなっています。



訪問、利用施設等についての満足度

訪問、利用施設等についての満足度（「とても満足+ほぼ満足」の割合）については、土産品についてと、飲食については、宇治市内・近畿圏内・近畿圏外の順で高くなっています。

また、「源氏物語関連施設、店舗等」や「宇治のまちの雰囲気」では、宇治市内の方の満足度が高くなっています。

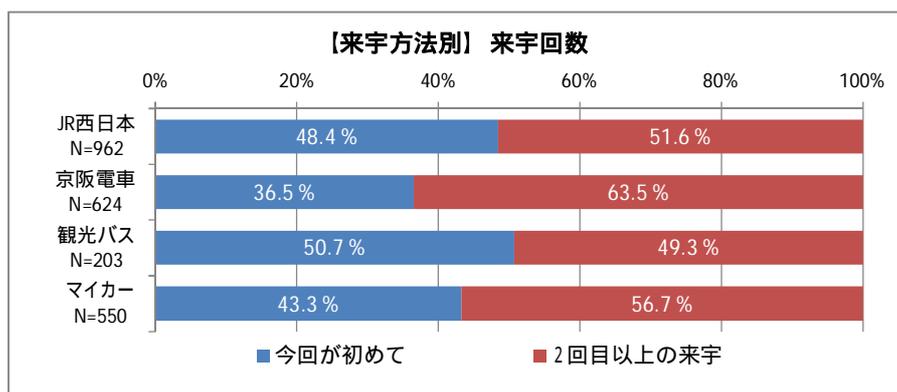


5. 来宇方法別にみた宇治市観光の動向（平成 23 年度観光動向調査より）

来訪者の来宇交通機関別にどのような特徴があるかを探るため、観光動向調査において、「JR」と「京阪電車」「観光バス」「マイカー」の来訪者に分けたクロス集計を実施し、分析しました。

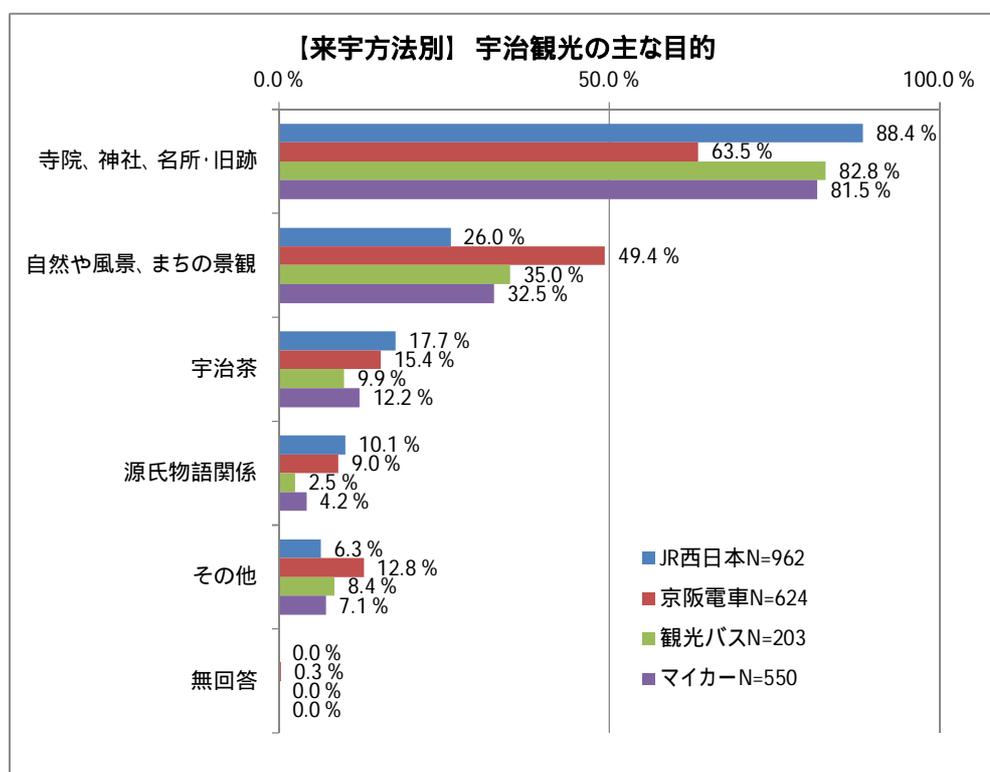
来宇回数

交通機関別の来宇回数では、京阪電車とマイカーでの来訪者にリピーターが多いことが伺えます。



宇治観光の主な目的

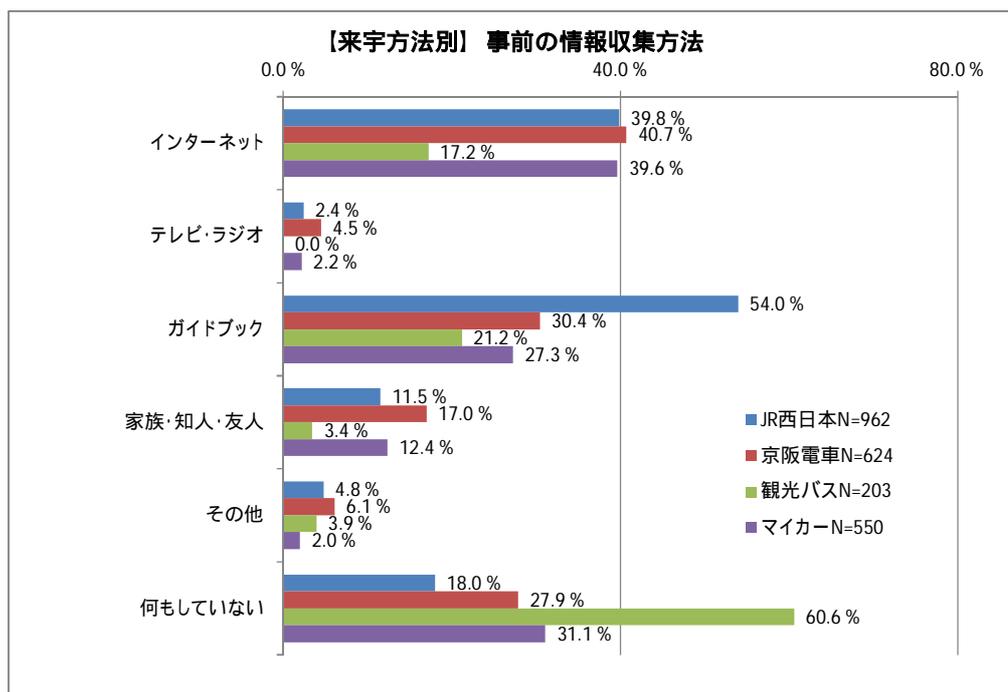
全ての交通機関で、「寺院、神社、名所・旧跡」の目的が最も高くなっていますが、「京阪電車」での来訪者は、「自然や風景、まちの景観」も5割近くと高くなっています。



事前の情報収集

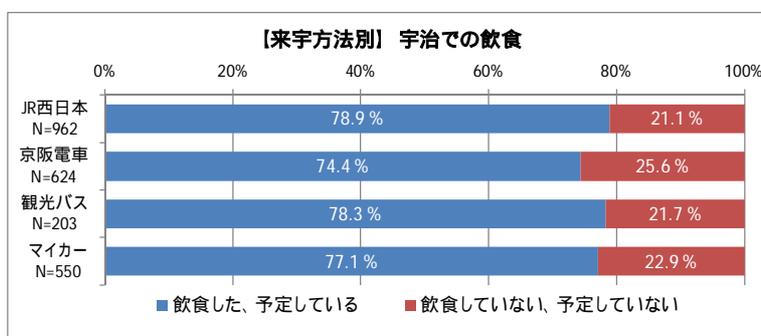
事前の情報収集では、近畿圏外からの来訪者が多いと考えられる JR では、ガイドブックが最も高く、京阪電車やマイカーに関してはインターネットが高くなっています。

一方、観光バスでの来訪者は、何もしていないが 6 割を超えています。

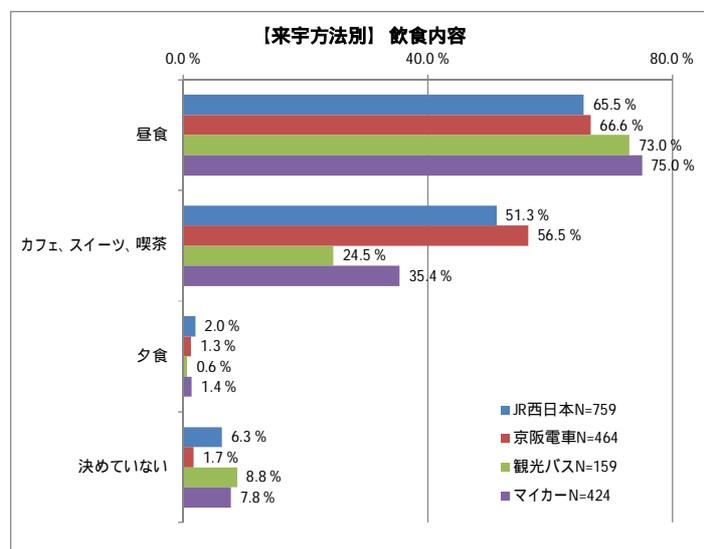


宇治での飲食

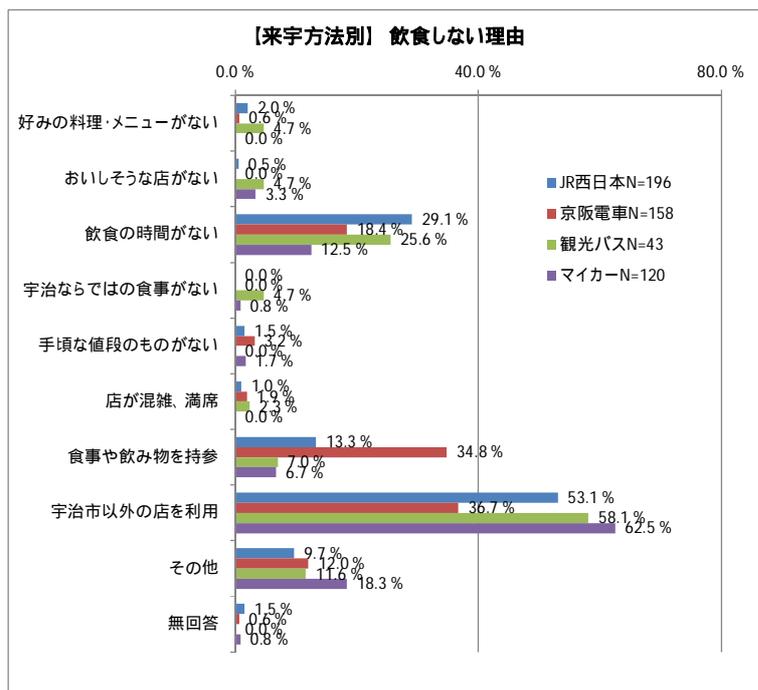
宇治での飲食については、交通機関別に大きな差異はみられない。



飲食内容については、観光バスでの来訪者で、「カフェ、スイーツ、喫茶」が低くなっています。

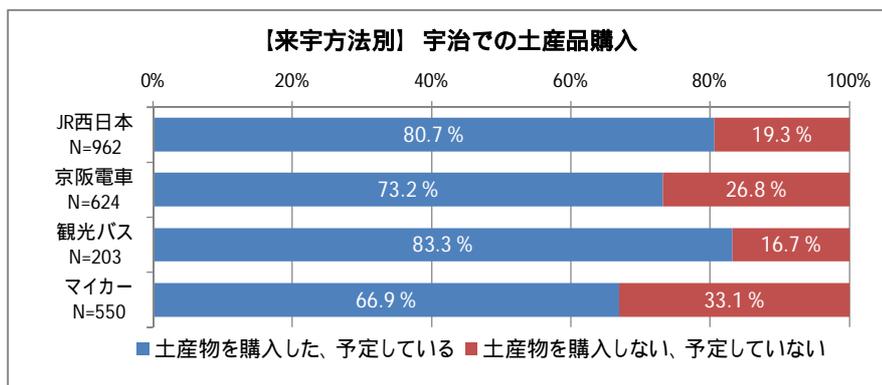


「飲食をしていない、予定していない」理由では、京阪電車での来訪者が「食事や飲み物を持参」している割合が高く、それ以外の交通機関では「宇治市以外の店を利用」が高くなっています。

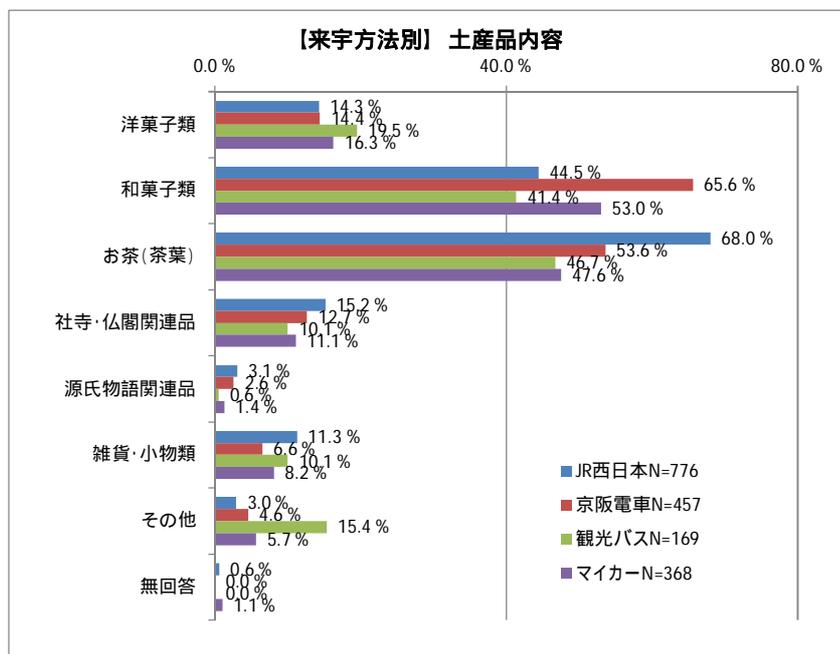


宇治での土産品購入

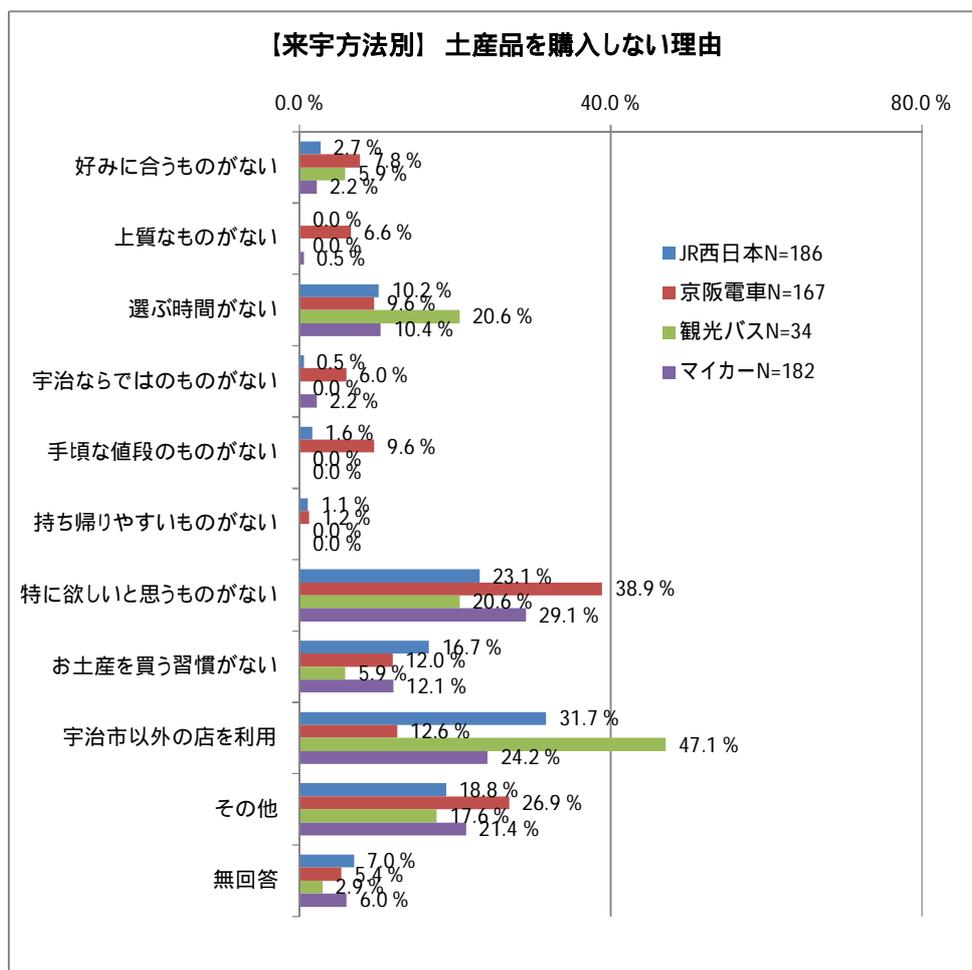
宇治での土産品購入については、購入割合が高い交通機関は、JR と観光バスで 8 割を超えています。



購入した土産品では、京阪電車とマイカーでは「和菓子類」が、JR と観光バスでは「お茶(茶葉)」が最も高くなっています。

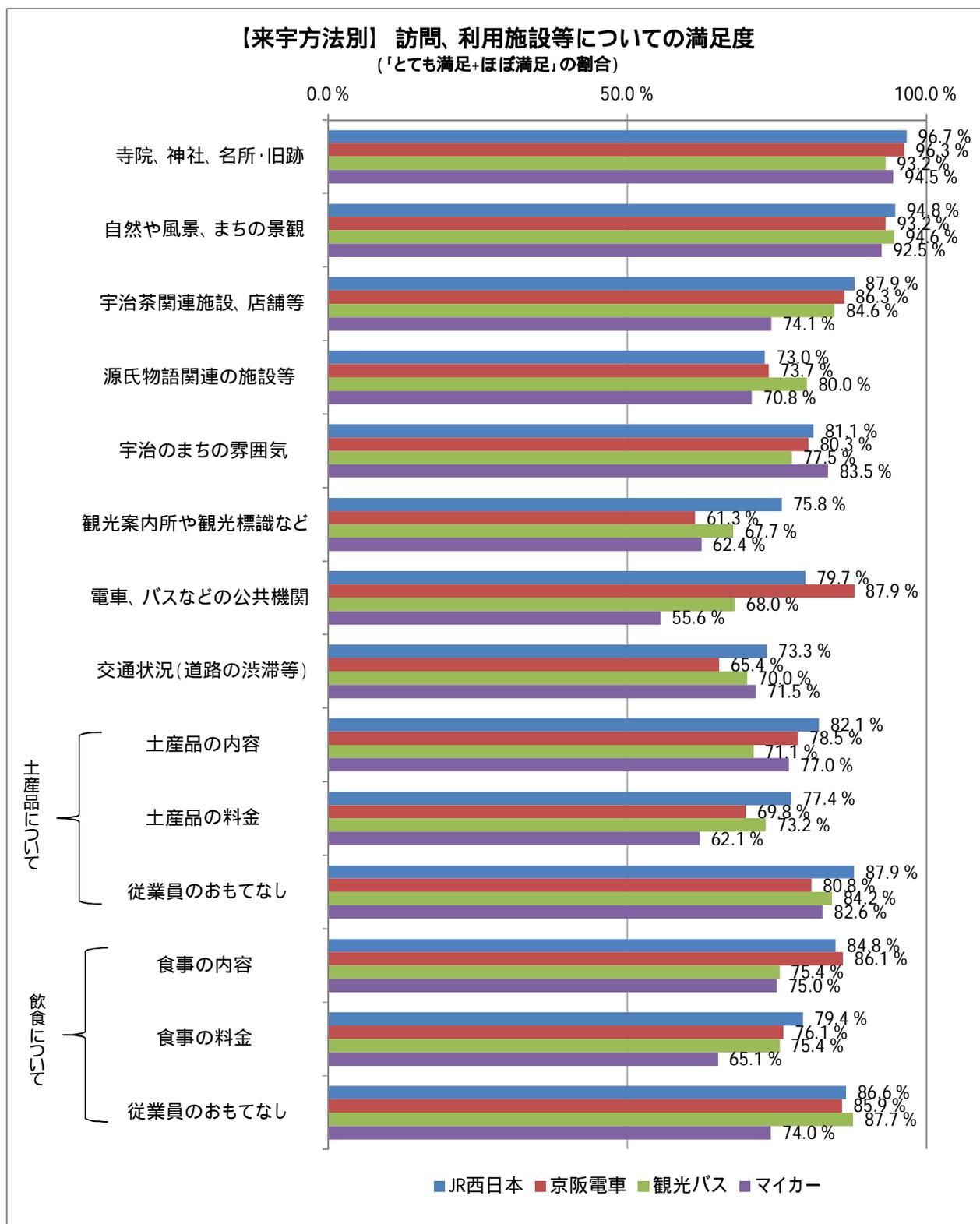


一方、「購入していない、予定していない」理由では、京阪電車とマイカーでは「特に欲しいと思うものがない」が、JRと観光バスでは「宇治市以外の店を利用」が最も高くなっています。



訪問、利用施設等についての満足度

訪問、利用施設等についての満足度（「とても満足+ほぼ満足」の割合）については、「宇治茶関連施設、店舗等」でマイカー利用者の満足度が低くなっています。また、「源氏物語関連の施設等」では、観光バス利用者の満足度が高く、「観光案内所や観光標識」では、JR 西日本を利用した方の満足度が高くなっています。



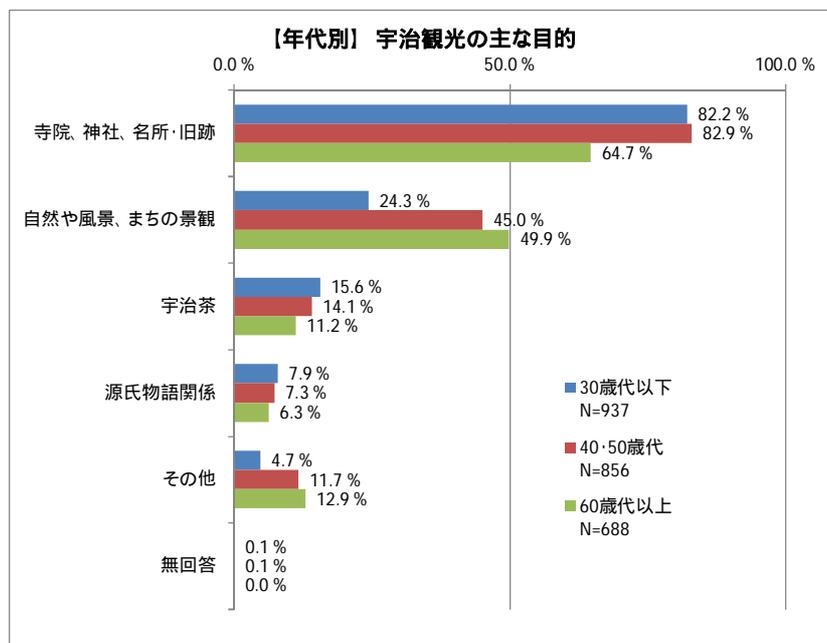
6 . 年代別でみた宇治市観光の動向（平成 23 年度観光動向調査より）

宇治に来訪する観光客を 30 歳代以下の若年層、40・50 歳代の中年層、60 歳代以上の高齢層に分けてクロス集計を実施した。

.宇治市内での調査

宇治観光の主な目的

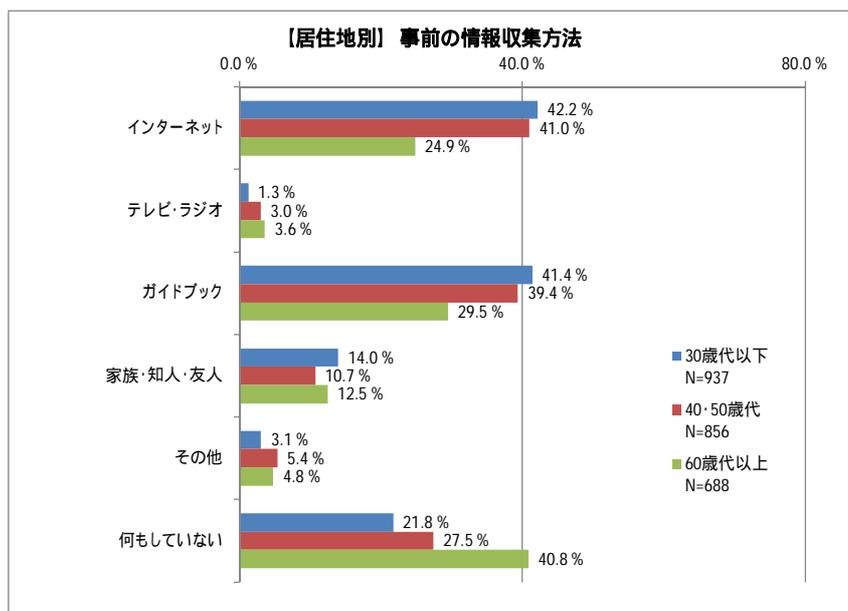
宇治観光の目的では、50 歳代以下の年代では、「寺院、神社、名所・旧跡」が多く、「自然や風景、まちの景観」は、40 歳代以上の年代で多い傾向が出ています。



事前の情報収集

事前の情報収集では、60 歳代以上の高齢者世代ほど、「何もしていない」割合が高くなっています。

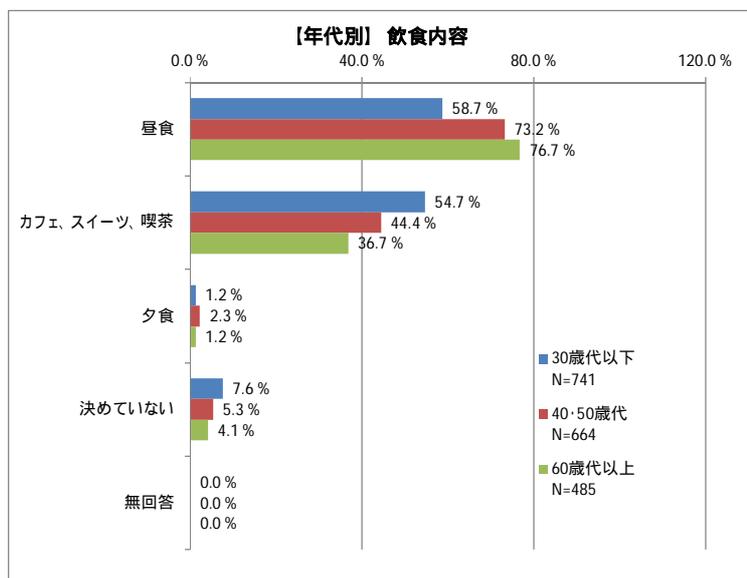
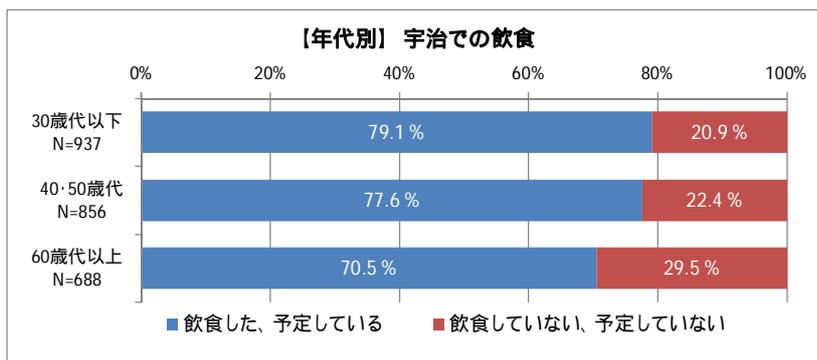
30 歳代以下と 40・50 歳代では、情報収集の方法にあまり違いは見られない。



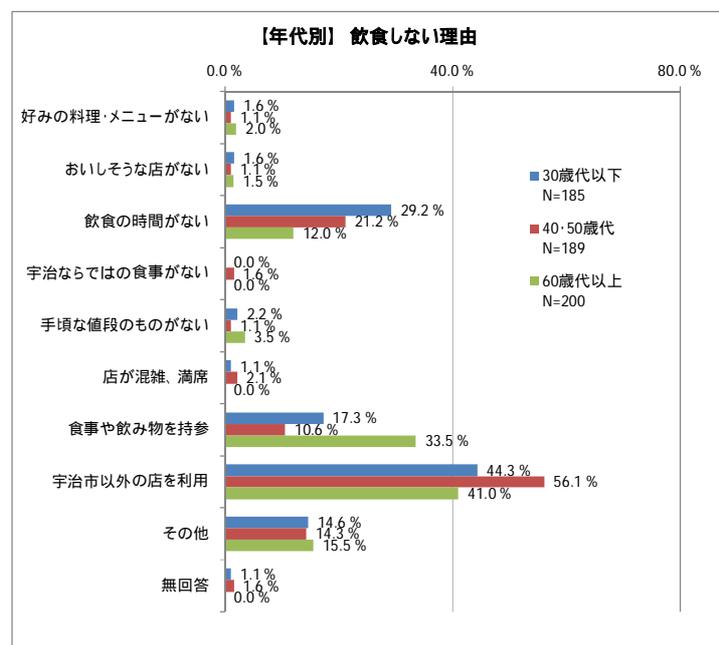
宇治での飲食

宇治での飲食については、「飲食した、予定している」と回答した割合は、年齢が高いほど割合が低く、60歳代以上では約7割となっている。

また、飲食の内容では、40歳代以上の年代では「昼食」の割合が7割を超え、30歳代以下では約半数となっている。一方、「カフェ、スイーツ、喫茶」は、30歳代以下では昼食と同様に半数となっている。

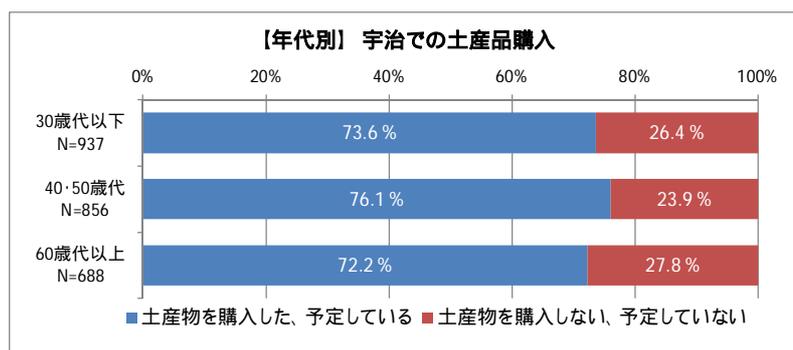


一方、「飲食をしていない、予定していない」理由では、全年代で「宇治市以外の店を利用」が、主たる理由となっているが、30歳代以下では「飲食の時間がない」、60歳代以上では「食事や飲み物を持参」も大きな要因となっている。



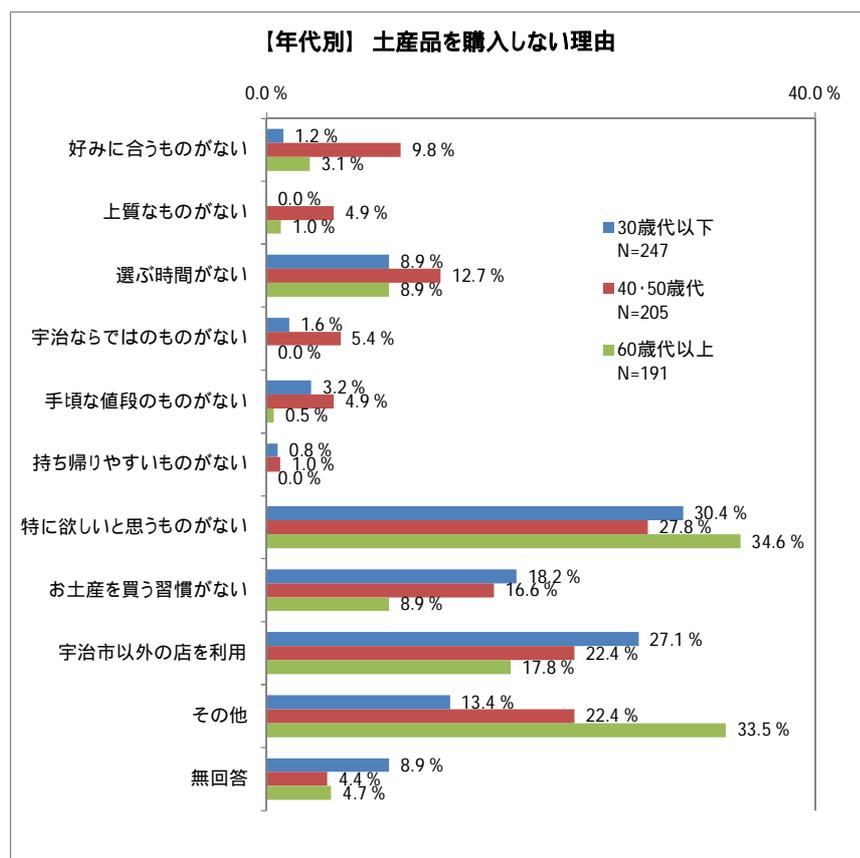
宇治での土産品購入

宇治での土産品購入の有無については、年代別で大きな差異は見られない。



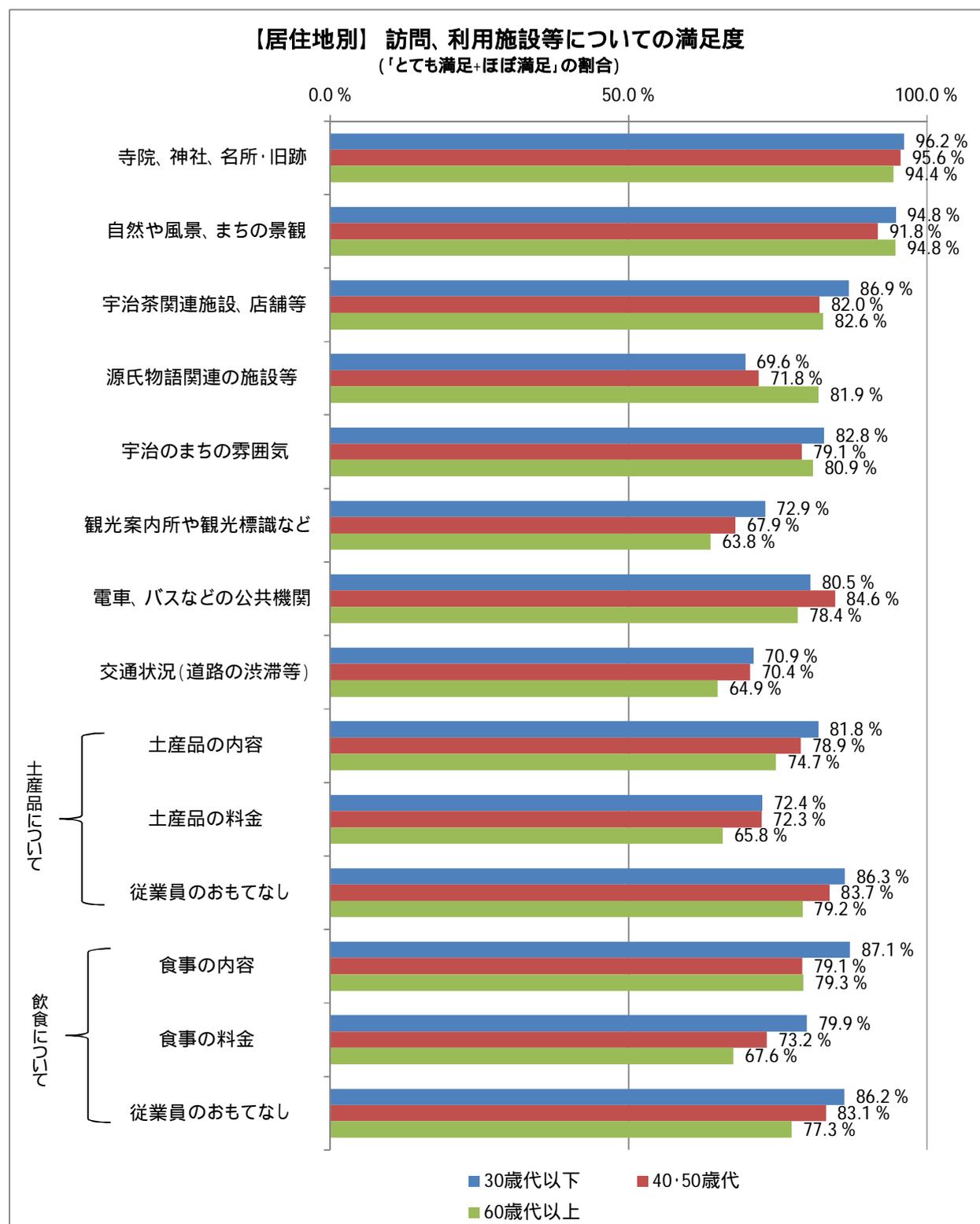
一方、「購入していない、予定していない」理由では、全年代で「特に欲しいと思うものがない」という理由が最も多くなっている。しかし、特に40・50歳代では、「好みに合うものがない」や「宇治ならではのものがない」といった具体的な理由を挙げている割合が高くなっている。

また、50歳代以下の年代では、「お土産を買う習慣がない」といった理由も比較的高くなっている。



訪問、利用施設等についての満足度

訪問、利用施設等についての満足度（「とても満足+ほぼ満足」の割合）については、寺院、神社、名所・旧跡や自然や風景、まちの景観、まちの雰囲気などは年代で満足度に大きな差はなく、土産品や飲食については、年代が低いほど満足度が高くなっている。一方、源氏物語関連の施設等では、60歳代以上の年代で満足度が高く、8割を超えている。



全国の観光地の中の京都、京都観光の中の宇治の位置づけ

京都観光に求める要素としては、名所旧跡の観光や、まちあるき・都市散策、地元グルメ、花見や紅葉など自然観賞が挙げられており、満足度調査でも、魅力的な特産品、大人が楽しめるスポット＝名所旧跡等が高く、交通案内板等のサイン整備のほか、地元の人へのホスピタリティに対する満足度が加わり、総合的な満足度が高く評価されています。

宇治観光においても、歴史遺産や自然・景観のほか、源氏物語関連施設など、大人が楽しめるスポットが数多くあるほか、宇治茶といった特産品もあり、京都観光の目的と合致するところが多くあります。

今後は、こうした情報をよりの確に提供していくことが必要と考えられます。また、宇治茶の認知度が高い一方、宇治への訪問目的となっていない状況にあり、高い認知度を活かしていない状況を改善する必要があります。

女性目線での宇治市観光の動向

宇治観光の目的として、宇治茶や源氏物語が男性よりも若干高くなっており、飲食やお土産の購入割合についても男性よりも高く、特にカフェ・スイーツ等の利用が高くなっています。一方、飲食を予定していない理由としては、持参される方が多いという傾向があります。また、全般的に満足度も高く評価されています。

リピーター目線での宇治市観光の動向

初めて来宇される方の目的は歴史遺産が圧倒的に高くなっていますが、リピーターの目的では歴史遺産から自然・景観へ 2 割程度シフトしています。あまり事前の情報収集はせず、飲食、お土産購入も減少傾向にあります。時間がなければならず、食事や飲み物を持参される方、特にほしいと思うお土産がないなど、あまりお金を使わない傾向にあります。また、満足度においては、自然・景観と源氏物語関連施設の評価は高くなっていますが、それら以外については低下しています。

リピーターに対しては、宇治に来られてからの宇治の濃い情報の提供や魅力的な食事、お土産の提供が求められると考えられます。

居住地別にみた宇治市観光の動向

宇治市民の特徴は 9 割以上がリピーターとなっているほか、飲食、お土産購入とも低く、料金への満足度が低くなっています。また、源氏物語関連施設や宇治のまちの雰囲気への満足度については他地域よりも高く評価していますが、交通状況については低くなっています。

近畿圏内からの観光客の特徴として、リピーターが約 7 割、交通手段では京阪電車の利用が多く、自然・景観を目的とする方が他地域より多くなっています。飲食、お土産購入について、近畿圏外からの観光客と大きく差はありませんが、飲食しない理由としては持参の方と宇治市以外の店の利用が高くなっており、お土産購入しない理由としては、特にほしいものがないとなっています。源氏物語関連施設と観光案内所等についての満足度が他地域に比べ低い傾向にあります。

近畿圏外からは J R 利用や観光バスでの訪問が高くなっており、歴史遺産を目的とする方が多くなっています。また、事前の情報収集ではインターネットよりもガイドブックによるものが高くなっています。満足度については、全般的に高く評価する傾向にあります。

近畿圏内からの観光客に対しては、リピーター対策と同様の対策が必要と考えられます。近畿圏外からの観光客に対しては、ガイドブックへの掲載が情報提供の有効な手段と考えられます。

交通手段別にみた宇治市観光の動向

J R、観光バスの利用の観光客では初めて来宇される方とリピーターがほぼ半数となっています。事前情報の収集では、J R 利用の方はガイドブックが高く、観光バスの方は何もしていないが高くなっています。飲食については交通手段による差はあまり見られませんが、鉄道利用の方はスイーツ等の利用が高くなっています。お土産の購入は観光バス利用の方が多く、マイカー利用の方は低くなっています。また、J R、観光バスの方はお茶（茶葉）が多く、京阪、マイカーの方は和菓子類の購入が多くなっています。満足度に関しては、観光案内所や観光標識などについて、京阪、マイカー利用の方の満足度が低く、交通状況については、マイカー利用の方よりも京阪利用の方の満足度が低くなっています。また、飲食やお土産の料金について、マイカー利用の方の満足度が低くなっています。

J R 利用の方は近畿圏外からの観光客に近い傾向があり、ガイドブックへの掲載が有効な情報提供と考えられます。京阪、マイカー利用の方への観光案内機能が不足しており、充実させる必要があると考えられます。

年代別にみた宇治市観光の動向

年代が高くなるほど、社寺仏閣よりも自然・景観を重視する傾向にあります。飲食については高齢化するほど減少しています。30 歳代以下では他の年代に比べて昼食利用が低く、カフェ・スイーツの利用が高くなっています。40・50 歳代での飲食しない理由として宇治市外のお店をご利用されるケースが多くなっています。お土産については、40・50 歳代の購入が高く、若年層、高齢者層では低くなっています。

飲食やお土産などの観光消費額を増やすためには、比較的所得に余裕があるとみられる 40・50 歳代をターゲットにする必要があると考えられます。